

世界遺産登録までの道のり

佐渡金銀山の世界遺産登録への取り組みは、平成9年度の市民団体による運動から始まり、平成16年3月に佐渡市が誕生すると、市では世界遺産登録を重要施策の一つに置き、平成18年度からは、県と共同で登録推進活動を進めてきました。

平成22年に「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称で、世界遺産暫定リストに記載され、これまでに国へ推薦書（原案）を提出していますが、国内候補選定には至っていません。

平成30年度から世界遺産の国内候補は、一資産のみと定められ、平成30年度は自然遺産（奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島）、令和元年度は文化遺産（北海道・北東北の縄文遺跡群）が推薦されました。市ではその間、推薦書のブラッシュアップをはじめ、佐渡金銀山ガイドانس施設「きらりうむ佐渡」の開館などのほか、国や関係機関への要望活動、署名簿提出なども官民協働で行ってきました。

県と市では、国内外の専門家や文化庁の指導を基に修正した推薦書（原案）を、今年3月末に国へ提出しました。今年7月の国内候補の獲得と世界遺産登録を目指し、さらなる取り組みを進めていきますので、皆さまのご支援とご協力を引き続きお願いします。

世界遺産推進課 ☎63—51336

世界遺産登録に向けて、さまざまな活動にご参加ください!

今後のイベント情報は、市ホームページなどでお知らせします。



文化財の価値を知る体験イベントなど
(写真: 笹川集落での砂金取り体験)



文化財保護のためのボランティア活動
(写真: 北沢浮遊選鉱場跡の草刈りボランティア)

佐渡金銀山の世界遺産登録までのスケジュール（案）

